



大宮総合車両センター各作業棟及び 東大宮センターの環境改善に向けた 申4号 申し入れを行う！！

JR東労組大宮地本は、今夏の猛暑に踏まえ7月31日大宮総合車両センター各作業棟を訪問し現状の一端を認識しました。各作業棟共に創意工夫し、熱中症対策を講じられ、会社としても、厚生労働省労働基準局・都道府県労働局・労働基準監督署より2009年6月19日付けで「職場における熱中症の予防について」に基づく、職場における熱中症予防対策が出され、その対策に基づき遂行されていました。しかし、現環境を踏まえれば新たに環境改善に向けて動き出すことが重要です。

近年、日本でも熱中症により多くの死傷者が確認されており、JR東日本でも、残念ながらグループ会社含めて死傷者を発生させています。各職場共に様々な対策を講じていますが、職場対策の限界性や熱に対する認識が薄く判断しきれないのではないかと感じています。注意喚起されても「精神論」が先行し、猛暑日続きの環境下で、身体が熱に順化出来ずに体調を崩しているのではないかと危機意識を抱いています。

大宮地本は、環境改善に向けて9月18日、申し入れを行いました。

■申し入れ内容

- 1、猛暑期間前に全社員へ①熱中症の予防方法②緊急時の救急処置等を周知徹底し、熱中症予防対策に万全を期すること。
- 2、作業の前後、作業中に水分・塩分が摂取できるように各作業棟及び東大宮センターで水及び塩飴等、用意し熱中症対策を講じること。また、各作業棟に冷蔵庫を配備すること。
- 3、身体を一時的に冷やすまたは、温めるためのおしぼりを用意し、おしぼり温冷蔵庫を各作業棟及び東大宮センターに配備すること。
- 4、厳寒時対策として、関係社員にホッカイロ及び足裏カイロを配布すること。
- 5、各作業棟に冷暖房完備の休憩室を新設すること。



重症度	症 状
高	<ul style="list-style-type: none"> 意識がない 体がひきつる(けいれん) 呼びかけに対し返事がおかしい 真っすぐ歩けない、走れない 体温が高い
中	<ul style="list-style-type: none"> 頭ががんとする(頭痛) 吐き気がする、吐く からだがだるい(倦怠感)
低	<ul style="list-style-type: none"> めまい、立ちくらみがある 手足の筋肉が痛い 汗がふいてもふいても出てくる

安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場環境を目指し、
職場から運動を創り出そう！